

# 一本歯の足駄 (津軽弁)



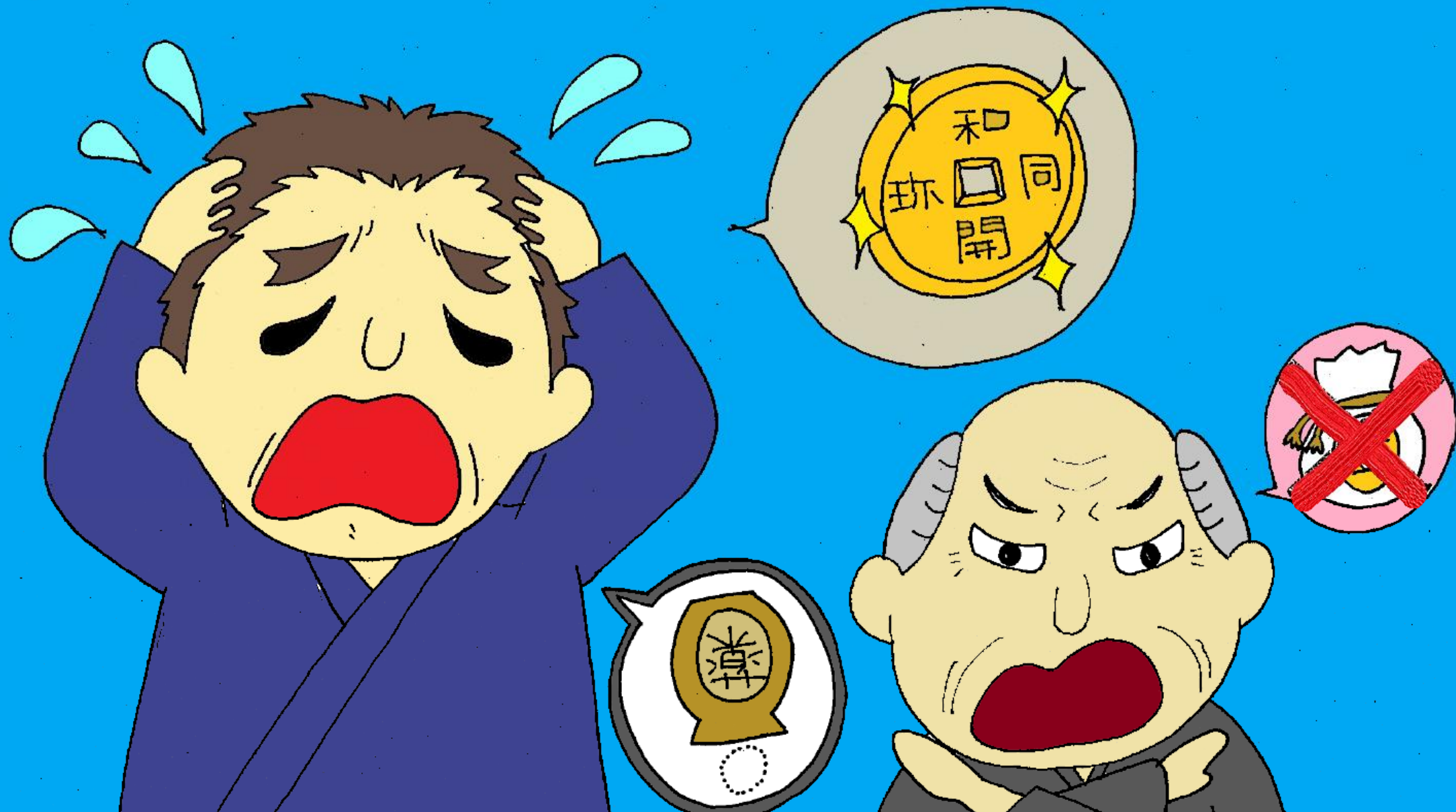
国土交通省 東北地方整備局  
岩木川ダム統合管理事務所  
イラスト：やざわ ゆな  
カラーリング：つしま けいこ

昔〃、あるどごさ、ヨネてす母親ど、作造てす息子ど、二人暮らしてあたど。貧乏であたばて、二人で、ちペーただ田こど畑こ耕して仲良く暮らしてらんだど。ある時、ヨネ病気になたど。

医者さ見でもらたばて、ながながすぐになおらね。二人して、爪に火コ灯（とも）すんだけにして貯めできた銭コ（じえんこ）あたばて、医者代ど薬代で、すぐに無（ね）ぐなつてまたど。

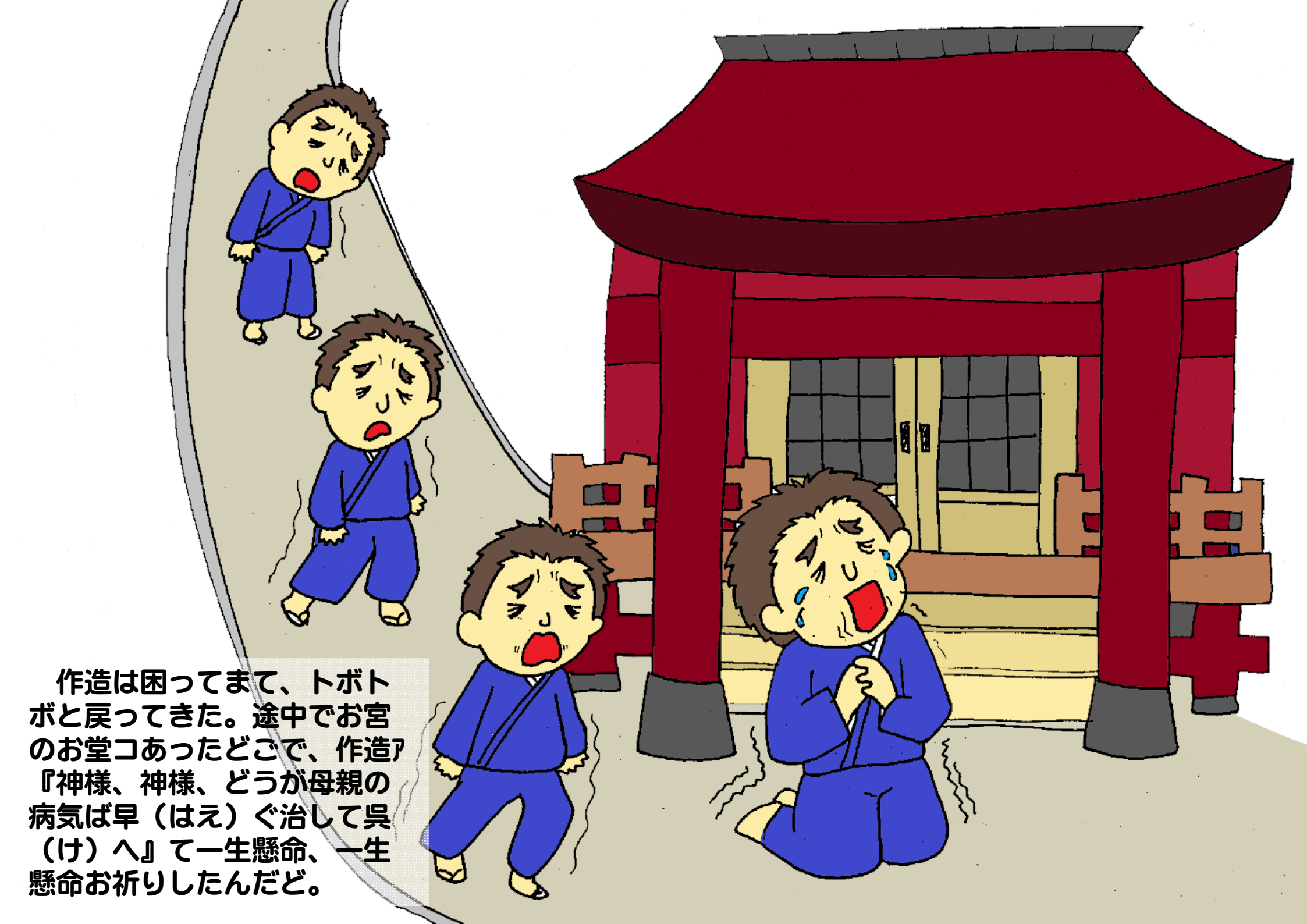


困つてまた作造、ケチだばつて金持ぢの親類（おやぐ）のオドさ頼みに行つて、やつと銭コ（じえんこ）少し借りできたど。



そしてるうちに、その銭コ（じえんこ）も無（ね）くなってまで、仕方なく、又借りに行たど。

親戚（おやぐ）のオド、『お前（め）、借りた銭コ（じえんこ）返（すま）さなうちに、又貸へてが。まいね、まいね』て貸すどころか、前の銭コ（じえんこ）返（すま）へ、返（すま）へてしたど。



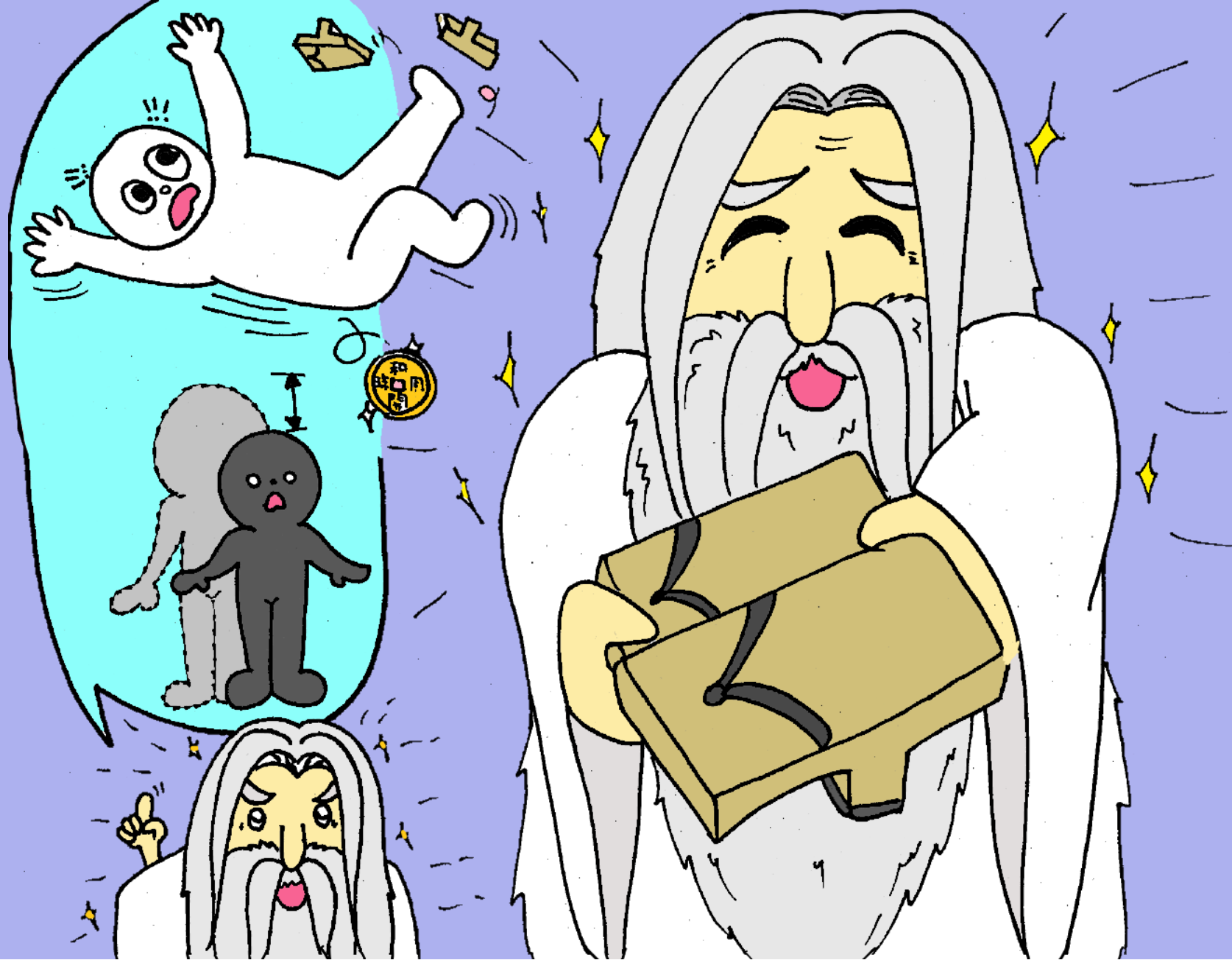
作造は困って来て、トボトボと戻ってきた。途中でお宮のお堂コあったとこで、作造『神様、神様、どうが母親の病気ば早（はえ）ぐ治して呉（け）へ』て一生懸命、一生懸命お祈りしたんだ。

したばって、医者さ払う錢コどこさも無(ね)。お堂コの前さ、ぺたっと座って、『困ったなあ。どへばいべ、どっへばいべ』て考えでるうちに、畑仕事ど、母親の看病で疲れでしまっていたどこで、ウツラウツラと眠てまったんだど。



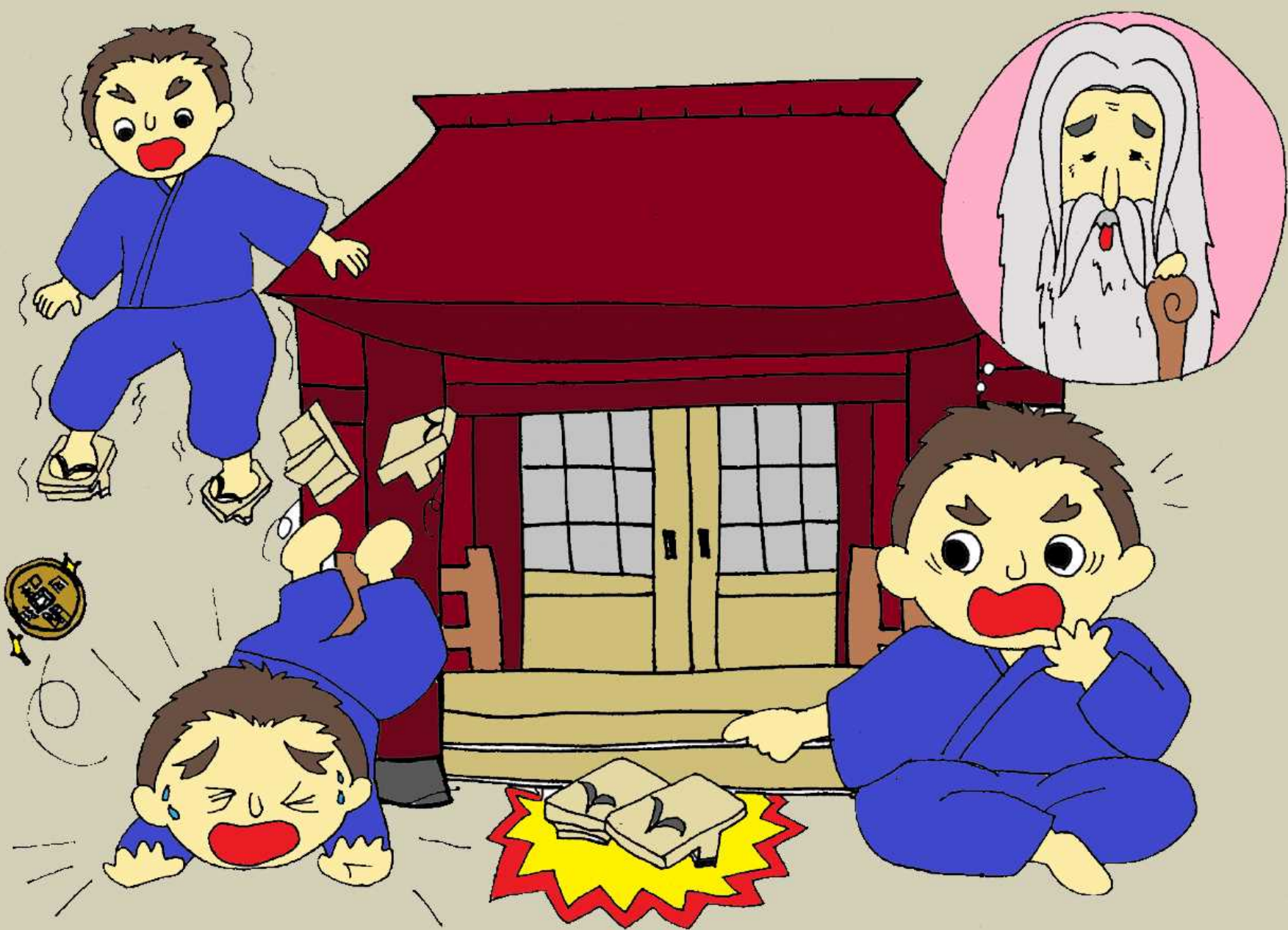
したきや、お堂コの戸コスーツと開いて、そこから白い髪コで長い髭垂らした爺様出てきたど。その爺様、作造に聞いた。

『こらこら、お前、何心配してらんだば。』て言(す)もんだどこで、『実は、これこれこうゆう訳で、母親の事、苦で苦まいねんですじゃ』て言(す)たど。



したきや、髭の爺様

『んだな、んだな、へば、お前（め）さ、この一本歯の足駄呉（け）る。この足駄を履いで転（おけ）れば、小判が出でくる。したばって、おけるたんびに、自分の背コアちぢぐばて低くなるはんで、どうしても要る時だけ使え、やだらに履げばまいねや。わがたが』て言（し）たど。



ハット目さまして見だきや、それア夢であた。したばって、目の前さ一本歯の足駄、本当に置いてあつたど。履いでみだきや、一本歯だどこで、すぐテッコラど転（おけ）てまた。

したきや、チャリンて、小判1枚出できた。てきました。びっくりして、ウツて立たきや、又転（おけ）た。したきや又、チャリンて出で来た。ゴロラてば、チャリン、ゴロラてば、チャリンて、次から次ど、小判出で来たずおんな。



作造、医者さ行て、たまってら薬代を払って、今度（こんだ）、親戚（おやぐ）のオドのどごさも、借りだ錢コ返（すま）しに行たど。





昼飯前（ちゆはんめ）に追（ほ）てやた作造、今度（こんだ）キンガラキンガラず小判持って、銭コ返（すま）しに来たどごで、オド怪しんで、泥棒でもして来たんだべがと思（も）て、『作ア、お前（め）その銭コ、どこから出したば？盗んできたんでねな』って聞いたど。

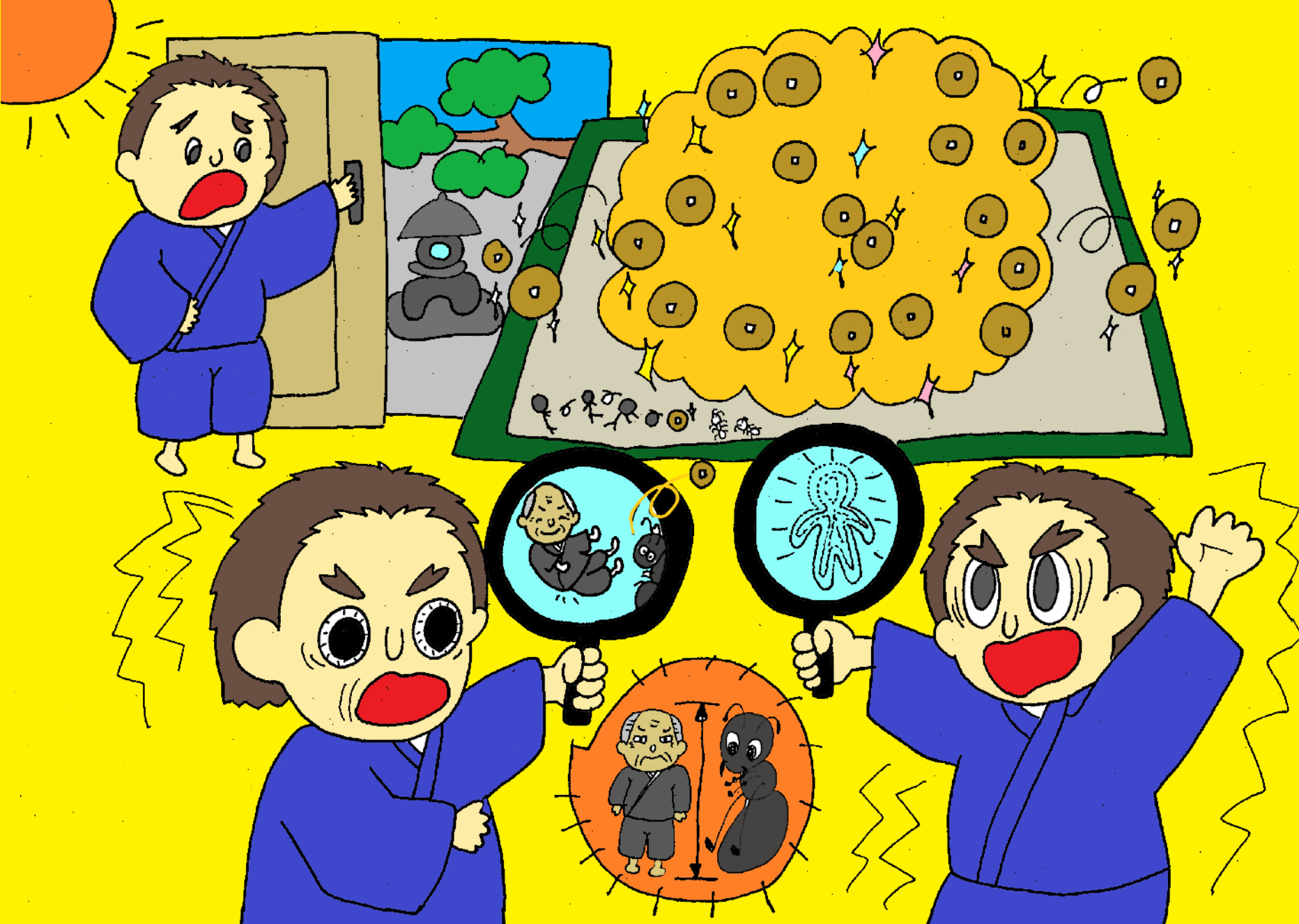
正直者の作ア、泥棒したと思われるのが心外で、本当のことしゃべって知かへだど。オドアどってんして、今度（こんだ）『作や、作や、我（わ）さもその足駄とば、一晚（ふとばげ）でもいいはで貸してける』と言（し）たど。作ア嫌であたばて、前に銭コ貸してもらった恩もある。仕方なく『へば、一晚（ふとばげ）だけでせ』て、オドさ足駄貸したど。

オドア喜んでまって、日の暮れるの待て、家族も使用人も寝でまてがら、門を閉めで、門（かんぬぎ）ギリッとかって、中庭さ大（で）っただ風呂敷を広げて、その上で足駄を履いて、ゴロラどと転（おけ）たど。チャリオンて小判出できた。オドア、作造の話、半信半疑であったんだばて、

本当に小判出てきたもんだごで、さあ、有頂天になってまって、ゴロラ、チャリン、ゴロラ、チャリオンって、次々に小判出したんだど。




そのたんびに、自分の背（じゃま）低ぐなっていくのも、何も気さねで、ゴロンチャリン、ゴロンチャリンド、夜が更けるのも忘れて、転（おけ）たり、立ったりしてらど。



早（あさまは  
足駄返（す  
べど思（も）  
行たど。  
小判山盛りに  
オド居ねど。

よーく見だきゃ、隅（すま）の方さ、キリギリスよりもっと小さくなった男居だど。オドであった。  
欲張だオドア、虫コだけんたになっても、まだ止めねで、ゴロンチャリンやってらんだど。  
作造、呆れて見でらきゃ、オドア、蟻コだけんたにチペーたぐなてまで、そしてるうちに、消え  
で見（め）ねぐなてまたんだど。



作造ア、その小判とば  
風呂敷さ包んで持って  
帰って、母親さ良ぐ効ぐ  
薬を買って飲まへだ。  
村の人さも病気で困っ  
ている人あれば、薬飲まへ  
で医者さも見（め）へで  
やったんだど。

村の人達ア（ふとだじ）みんな、作の事は、幸せ呉（け）る人  
だずごとで、『しあわせ作造』って呼ばて有り難がったど。

人の欲ずものア限りねえもんだ。銭コ、なんぼあっても、そ  
の使い道わかねば、みんな死に金だ。貯めでるばりで、それ  
ば人さ施（ほどこ）さねば、逆に銭コさ殺されるばりだ。

お前（め）達も、金の亡者になれば、まいねんでせー。

とっちばれ。